

探究 PF II C

環境セミナー

令和6年10月25日（金）に、長崎大学総合生産科学域（環境科学系）准教授の利部慎（かかぶまこと）先生を講師としてお招きし、2年生家政科を対象とした「環境セミナー」を開催しました。

家政科にとって水は、料理の味を左右するとても大切な材料です。今日は、「身近な水」をテーマに、水と環境について理解を深める目的のセミナーです。

講義では、質問に対する答を番号で選択すると、即座にグラフ化される「Response Card」を使用したので、生徒達はノリノリで回答していました。地球上の「水」の種類、人間が利用できる水の割合があまりにも少ないことには驚きました。また、1人当たりの水使用量は、世界平均 174L、長崎市 302.9L、大村市はさらに多い 317.2L とあきらかに「使いすぎだ」との声があがりました。また、生徒は長崎県の水道料金との他地域との違い（長崎県が高い）について関心が高かったようです。

実験では、産地が異なるミネラルウォーターのテイスティングを行いました。同じ水でありながら味が微妙に異なることに気づく体験でした。次は、校内で一番汚いと思う水を探し出し、パックテストで比較しました。汚いと思った池の水がそれほどではなかったり、きれいと思った水が汚かったり、調べてみるのが大切だとわかりました。環境問題について考える良い機会になりました。



左上・中央：講義の様子
右上：マイクロピペットを扱う様子



パックテストで調べる様子